

# 東洋陶磁学会 2016年(平成28年)度 事業報告

## 総会

日時:平成28年6月4日(土)午後1時～

会場:学習院大学北2号館(文学部研究棟)10階大会議室

特別報告:『世界の陶磁史研究動向』

「国立故宫博物院南部院区の開館について」:小林 仁

「二〇一五年度中国古陶磁学会年会等の参加報告」:徳留大輔

「韓国康津沙堂里陶窯址調査報告書(2015)の紹介」:李 芝賢

## 大会(参加者:136名)

日時:平成28年10月29日(土)・30日(日)・31日(月)陶片見学とバス見学会

会場:佐賀県立九州陶磁文化館

共催:九州陶磁文化館・有田町教育委員会・近世陶磁研究会

後援:伊万里市教育委員会

テーマ:「日本磁器の創始と発展—江戸前期を中心に—」

### 日程

10月29日(土) 午後1時～

- ・東洋陶磁学会常任委員長挨拶 大橋 康二
- ・記念講演「日本磁器の創始と発展(概論)」 鈴田 由紀
- ・研究発表

「肥前の磁器の始まりの実態(初期伊万里)」 村上 伸之

「肥前磁器の流通について—十七世紀前半の出土資料を中心に—」

渡辺芳郎・野上建紀・赤松和佳・畑中英二・水本和美・滝川重徳・庄田知充・新宅輝久・藤掛泰尚・河合 修・小野田恵・佐藤雄生

10月30日(日) 午前10時～

- ・研究発表

「色絵磁器の始まりの実態(初期色絵)—山辺田遺跡調査成果を中心に—」 大橋 康二

「柿右衛門様式の実態」 家田 淳一

「柿右衛門様式色絵の消費地での出土状況」 堀内 秀樹

「鍋島焼の始まりから盛期に至る実態」 船井 向洋

「鍋島焼の消費地での出土状況(草創期～盛期鍋島)」 水本 和美

- ・見学:佐賀県立九州陶磁文化館

特別企画展「日本磁器誕生」

10月31日(月)午前9時～

- ・バス見学会:山辺田遺跡(初期色絵)出土品見学(有田町)→ 昼食(有田町)→  
九州陶磁文化館駐車場からバス出発 →山辺田遺跡現地見学 →  
大川内山(初期鍋島)発掘調査(伊万里市内)見学 → 有田駅解散

## 研究会

6月18日(土)午後1:30 ～ 鎌倉国宝館(27名)

瀬戸哲也(沖縄県立埋蔵文化財センター)

「沖縄出土の14～16世紀における龍泉窯系青磁の生産地の追求」

\*鎌倉国宝館「常盤山文庫名品展2016 国宝の墨蹟-鎌倉地方の寺院に伝わる青磁とともに-」

8月20日(土)午後1:30 ～ 大阪市立東洋陶磁美術館(32名)

田代裕一郎(ソウル大学大学院)「“秋草手”と称される朝鮮白磁に表された草花文様について」

\*大阪市立東洋陶磁美術館企画展「朝鮮時代の水滴」

11月26日(土)午後1:30 ～ 東京藝術大学美術学部(40名)

伊藤郁太郎(大阪市立東洋陶磁美術館)「安宅コレクション残影」

平成29年3月18日(土)午後1:30 ～ 青山学院大学総研ビル 共催:明代史研究会

(36名:東洋陶磁学会30名、東洋陶磁学会・明代史研究会:2名、明代史研究会:4名)

飯田敦子(慶應義塾大学、フェリス学院大学)

「明代景德鎮陶磁史研究における文献史料

-『嘉靖・江西省大志』と『万曆・江西省大志』の「陶書」をめぐって-」

新井崇之(明治大学大学院、日本学術振興会特別研究員)

「清代乾隆年間における景德鎮官窯の管理体制-清朝の公文書から見た乾隆官窯の盛衰-」

金沢 陽(東洋文庫)

「明代隆慶官窯の焼造命令と伝世品の符号について」

## 後援事業

平成29年2月18日(土)

李秉昌博士記念公開講座「北宋汝窯青磁と高麗青磁」

主催:大阪市立東洋陶磁美術館・(公財)大阪市博物館協会

## 学会誌

第46号:平成29年3月31日発行

「備前焼-過去と未来を考える-」(第43回大会発表を中心に)

## 会報

第85号:平成28年7月29日発行(総会編)

第 86 号:平成 28 年 11 月 15 日 発行(考古編)

**常任委員会**

第 1 回:平成 28 年 4 月 23 日 於常盤山文庫

第 2 回:平成 28 年 6 月 4 日 於学習院大学

第 3 回:平成 28 年 10 月 29 日 於佐賀県立九州陶磁文化館

第 4 回:平成 29 年 3 月 4 日 於学習院大学

**編集委員会** メールで随時開催

**学会改革** ホームページ拡充

**会員拡充** 新入会員 26 名・退会者 34 名(滞納 5・申出退会 26、住所不明 3)

**その他** 学会誌バックナンバー配布